

四年生 「買い物から環境と交通を考える」出前授業の感想

<一組>

- ・お母さんに出前授業で教えてもらったことを伝えて買い物をしようと思います。
- ・二酸化炭素を排出しないような工夫は、買い物でもできることがわかった。
- ・二酸化炭素をあまり出さないように工夫して生活していきたい。
- ・これから買い物へ行くときには、徒歩か自転車で行くようにしていく。

<二組>

- ・なるべく、買い物をする時には、外国産よりも日本産を買った方がいいので、買い物は、日本産をなるべく買うようにします。
- ・買い物の時に気を付けることが分かった。できるだけ歩いて買い物に行くといいということが分かった。
- ・車で遠くのスーパーに行くとかかなり CO2 が出る。近くの店は歩きや自転車で行く。
- ・いくら安いといっても、フードマイレージでは、環境に悪い。
- ・大阪に近ければ近いほど、二酸化炭素を出さなくてすむことが分かった。

<三組>

- ・なるべく近くで作られたものを買おうと思った。
- ・近くの店で歩いてでも買い物に行けるときは、歩きで行こうと思った。
- ・今までは値段のことしか考えてなかったけど、環境のことも考えていきたい。

<四組>

- ・ゲームを通して、とても勉強になった。これから買い物をするときは、産地を見ようと思った。
- ・地球沸騰化という言葉を知っていたが、車やバスがたくさん二酸化炭素を出していることを知ってびっくりした。
- ・北海道産のものがおいしいってイメージで選んでしまっていたが、フードマイレージが高くておどろいた。これから買い物をするときは、しっかり考えてみたいと思った。

<担任>

・環境問題を考えていく中で、買い物をするときにも二酸化炭素の排出を減らす方法があることを学習することができました。子どもたちもこの授業をきっかけに買い物するときには、どこで生産されたものか、どうやって運ばれてきたのかを考えて行動していくと思います。

お忙しい中、ありがとうございました。

・お買い物ゲームを通して、ジャガイモを買うにしても、産地から運ばれてくる距離によって CO2 の量が変わるということを子どもたちが体験しながら知られてよかったです。よく街中で、地産地消という言葉が聞きますが、近くの産地のものを買うと高くても、CO2 の排出量が減るとということがわかったと思います。お買い物ゲームを通して教えていただいたので、とてもわかりやすかったと思います。ありがとうございました。

・今回の出前授業を通して、子どもたちが「フードマイレージ」を知るきっかけになり、また、買い物をするときに、産地を気にすることが、二酸化炭素の量を減らすための行動の一つになるということを知ることができました。ありがとうございました。

・子どもたちにとって、運ばれてくるとき、自分たちが買い物に行くとき CO2 を排出していることは、これまで考えていなかったことで、今回を機にフードマイレージのことを知り、環境について考えるきっかけとなりま

した。三年生の社会科で品物の産地について学び、四年生では、都道府県の名前や位置について学習しているので、このタイミングで今回の学習をすることがカリキュラムとして、最適だと思いました。ありがとうございました。